

株式会社テクノマセマティカル

2026年3月期<第26期>

決算説明会

資料

■ Algorithm Specialist

TMC

2026年5月

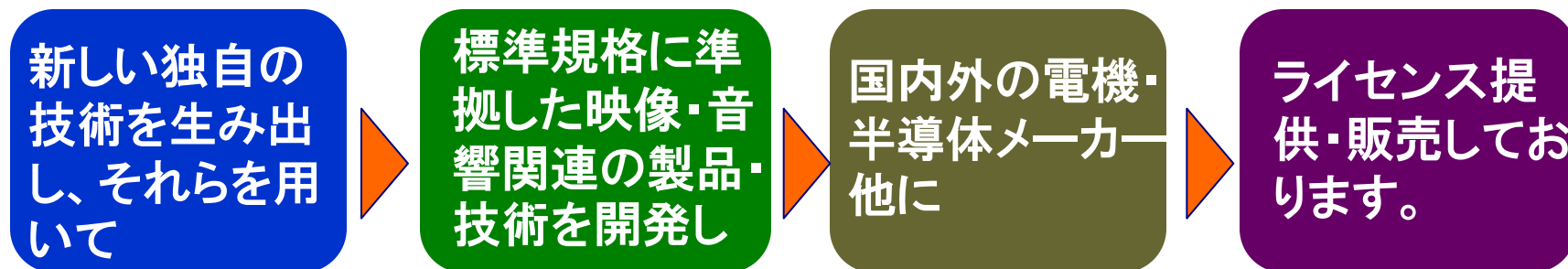
Agenda

1. 事業概要
2. 今期決算
3. 売上内訳
4. B/S、C/F
5. 来期(2027/3期)について
6. これからの事業展開について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ① 高圧縮率
- ② 高画質
- ③ 低消費電力
- ④ 低遅延

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から

“アルゴリズム開発”をビジネスの基幹と位置付け

DMNA

(Digital Media New Algorithm)

テクノマセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称

画像/映像

音響/音声

DMNAを圧縮／伸張処理に応用

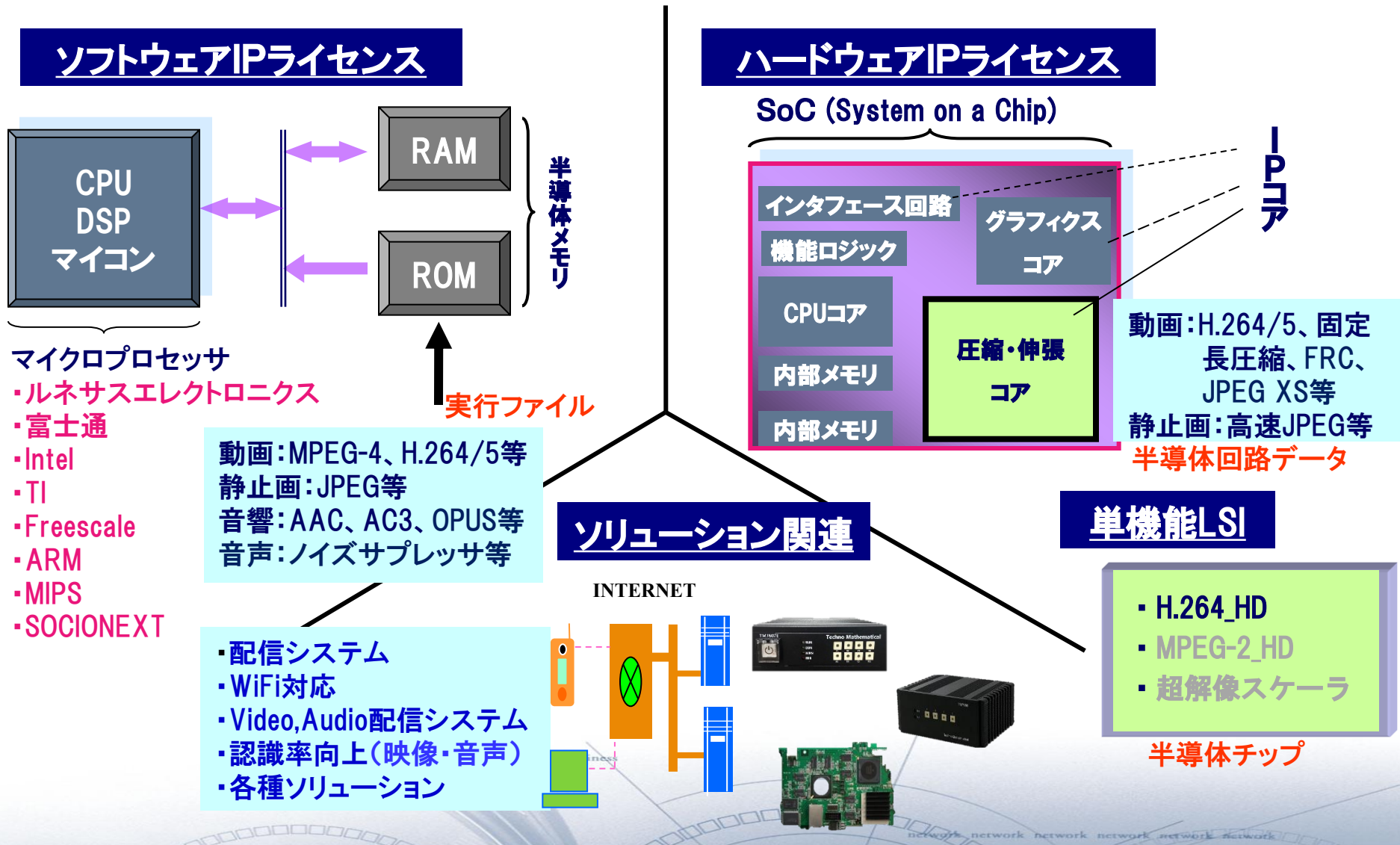
ソフトウェアIP

ハードウェアIP

ソリューション事業

システム開発/ホード/装置物

1-3 製品形態



1-4 当社技術の効果確認デモ作成

キレイ、速い、軽い、低遅延を実感できるデモを開発

従来、当社技術の特性(キレイ、早い、軽い、低遅延)は、商品パンフなどに実測値を記載してアピールしていましたが、お客様の目の前で実際の効果をアピールできるよう、デモ・キットを作成し、お客様への訴求力を強化しました。

【対象技術】 H.264/AVCのエンコードの実行時間をDMNA有/無で比較する

解像度:1920*1080@60P

300フレーム

PC (intel 86系 CPU)



【効果】 DMNAがH.264/AVC規格を基準として動画エンコード性能を75%向上させた

DMNAは、数学的なレベルで計算の複雑さを低減することで、ビデオのエンコードおよびデコードにおいて根本的に効率的なアプローチを実現します。処理負荷、消費電力、帯域幅に制約のあるシステムにおいて、こうした効率化は、測定可能なパフォーマンスの向上に直結します

1-5 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品
「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造
ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能
国際標準規格準拠、日本発の映像 / 音響 / 音声製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上
既存 / 新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 損益計算書推移

(単位:百万円、%)

	2024/3期			2025/3期			2026/3期		
	金額	構成比	前期比増減額	金額	構成比	前期比増減額	金額	構成比	前期比増減額
売上高	527	100.0	△ 71	416	100.0	△ 111	685	100.0	269
売上総利益	491	93.2	△ 67	376	90.5	△ 114	634	92.5	257
販売管理費	648	123.0	36	663	159.3	14	589	85.9	△ 73
営業利益	△ 157	△ 29.8	△ 103	△ 286	△ 68.8	△ 129	44	6.5	331
経常利益	△ 141	△ 26.8	△ 98	△ 282	△ 67.7	△ 140	106	15.5	388
当期純利益	△ 144	△ 27.4	△ 98	△ 285	△ 68.4	△ 140	85	12.5	370

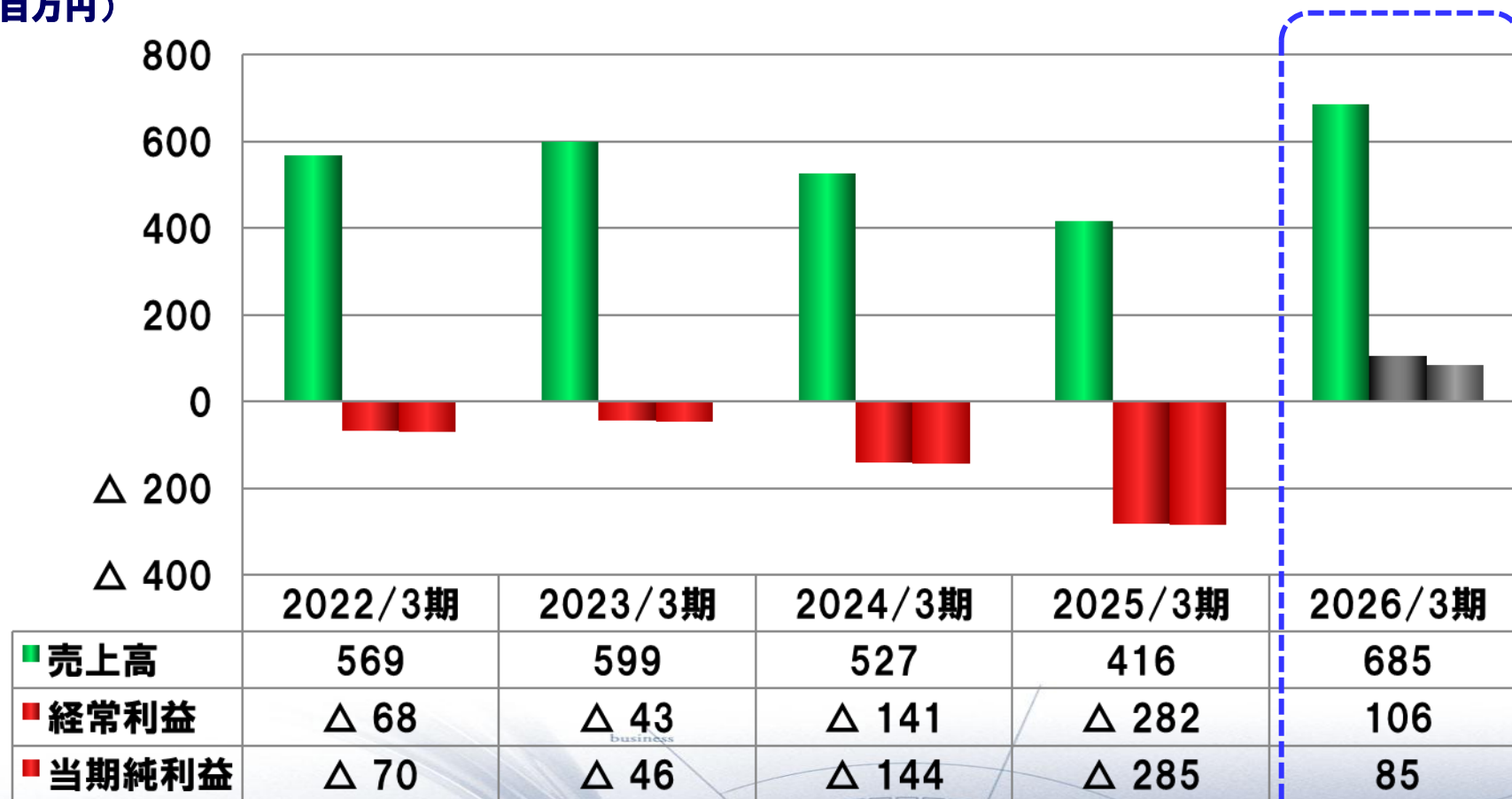
2-2 業績の推移

2026/3期
要 因

売上高 ソフトウェア部門での大型案件、堅調なRR、ソリューション事業での防衛関連案件拡大等により、7期ぶりの高水準

損 益 増収効果と営業外利益拡大により同じく7期ぶりとなる黒字確保

(百万円)

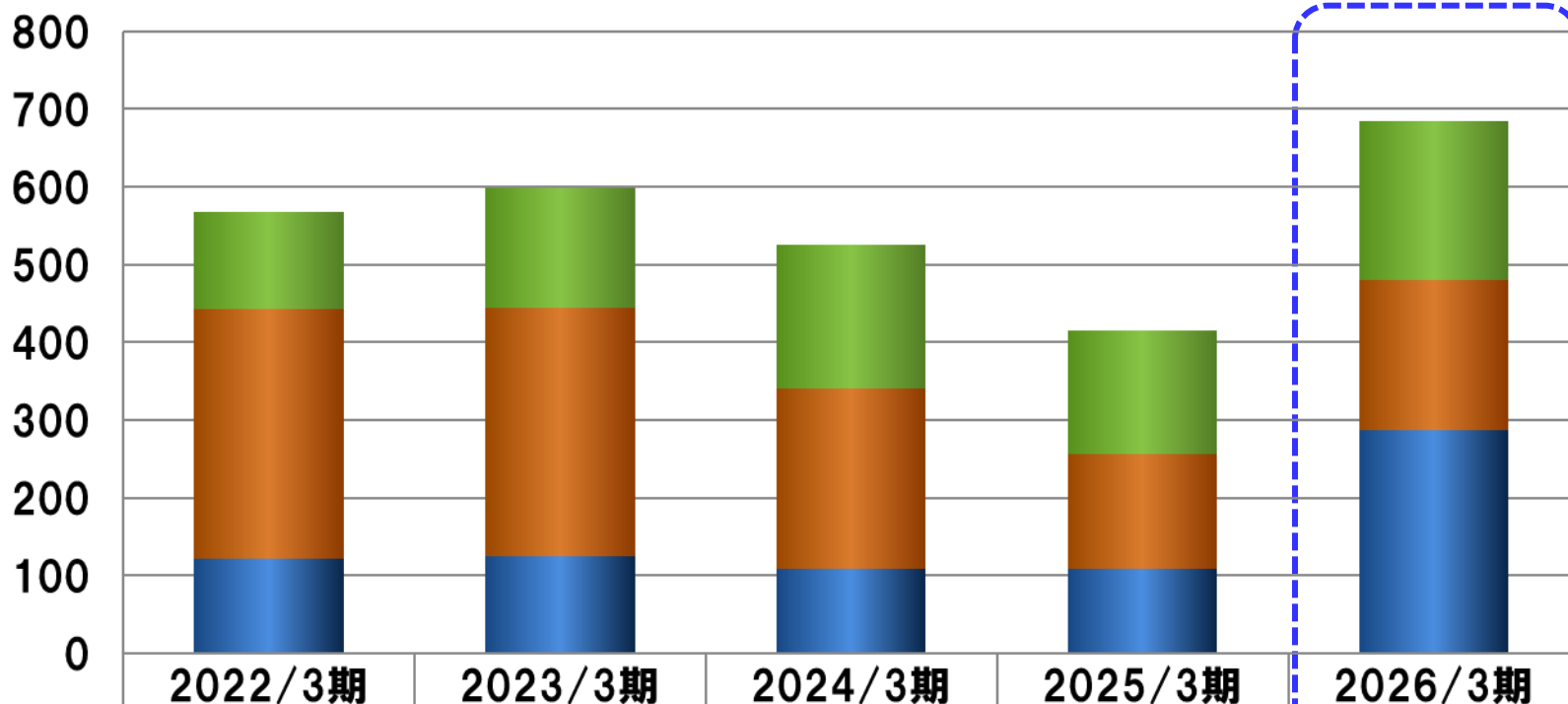


3-1 売上の内訳(事業区分別)推移

◆IP事業は前期比86.9%の大幅増・・・ソフトウェアは162%増、ハードウェアが30.9%増

◆ソリューション事業は前期比28.4%増・・・機器販売堅調、開発案件は防衛、官公庁向け拡大

(百万円)



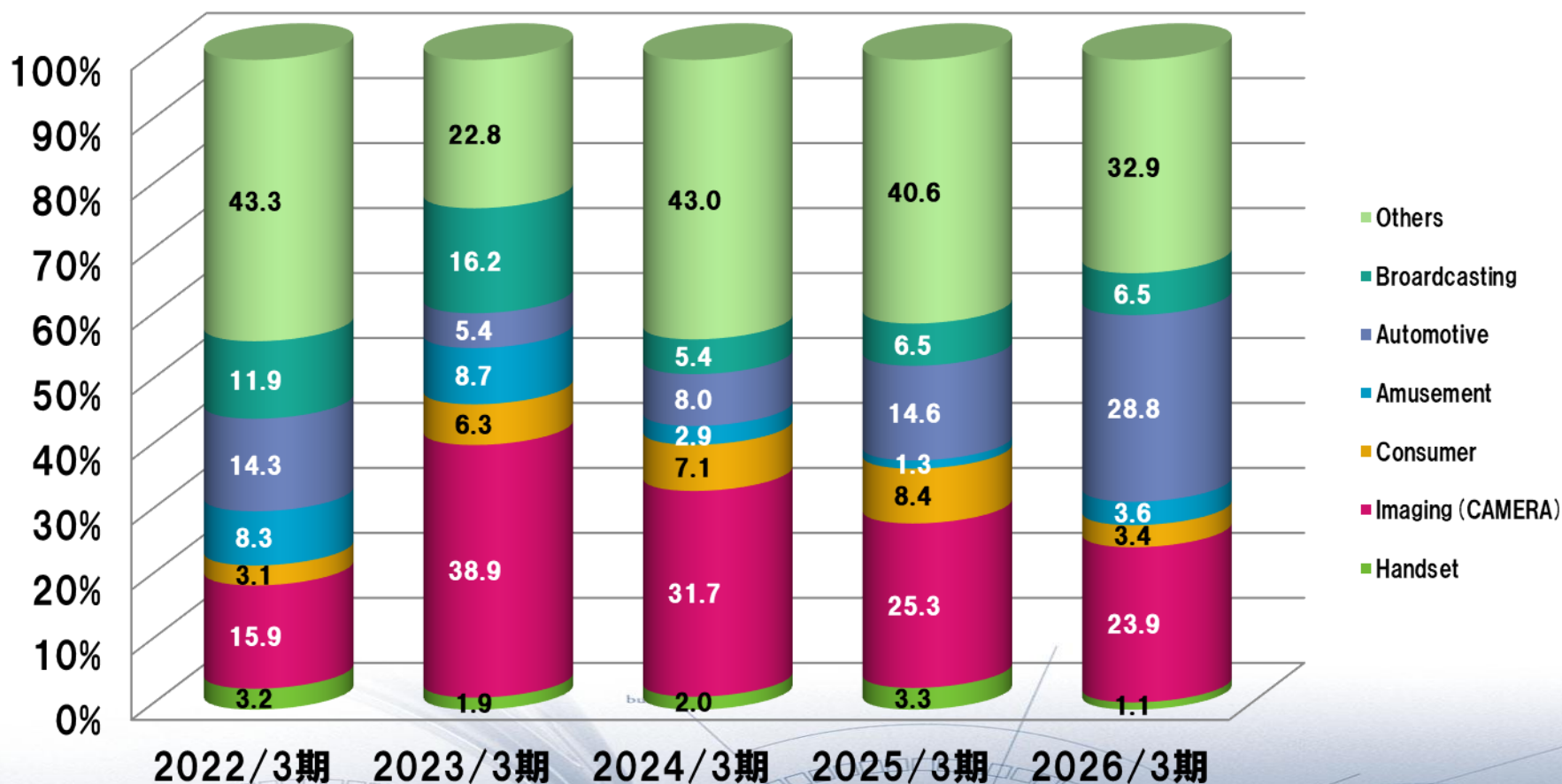
■ ソリューション	124	153	185	159	204
■ ハードウェア	322	321	233	147	193
■ ソフトウェア	121	124	108	109	287

3-2 売上の内訳(対象市場別)推移

◆車載関連は、ソフトウェアの大型ライセンス契約獲得でAutomotiveの比率拡大

◆デジカメ関連は、ロイヤルティの堅調推移によりImagingの比率は横ばい確保

2026/3期



4-1 貸借対照表推移

(単位:百万円)	2024/3期末	2025/3期末	2026/3期末	構成比	対前期末比 増減
流動資産	1,329	1,013	1,106	56.8%	92
固定資産	857	830	839	43.1%	9
資産合計	2,187	1,843	1,945	100.0%	102
流動負債	110	81	133	6.8%	52
固定負債	6	—	—	—	—
純資産	2,070	1,762	1,812	93.1%	49

4-2 キャッシュ・フロー計算書推移

(単位:百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	対前期比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 272	△ 202	105	307
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1	0	1	1
財務活動による キャッシュ・フロー	—	—	—	—
現金及び現金同等物 の増減額	△ 265	△ 208	117	325
現金及び現金同等物 の期首残高	1,111	845	637	△ 208
現金及び現金同等物 の期末残高	845	637	754	117

5-1 2027/3期業績見通し

(単位:百万円)

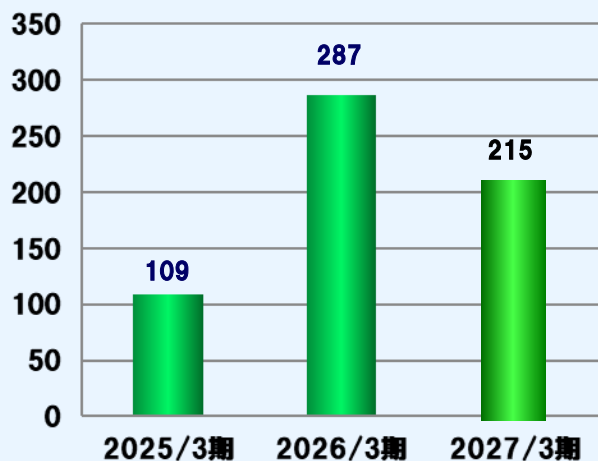
	予 想	増減	増減率	2026/3期実績
売 上 高	705	19	2.8%	685
経 常 利 益	34	△ 72	—	106
当 期 純 利 益	31	△ 54	—	85

- ◆ ソフトウェアライセンス=車載機器、音声・画像認識、配信システム向け中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス=デジカメ、宇宙関連、表示装置向け中心にH.265、H.264/5マルチ、固定長、JPEG XS、AV1見込む
- ◆ ソリューション=各種装置物拡販、車載関連、防衛関連やその他各種システム/カスタム案件も見込む

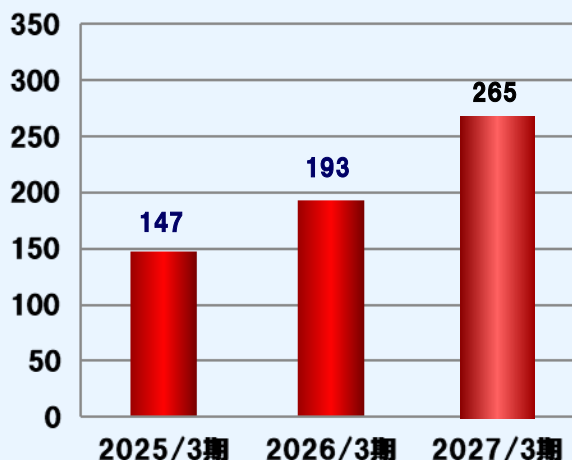
5-2 事業区分別売上予想

＜売上高＞（単位：百万円、2025/3期、2026/3期は実績、2027/3期は予想）

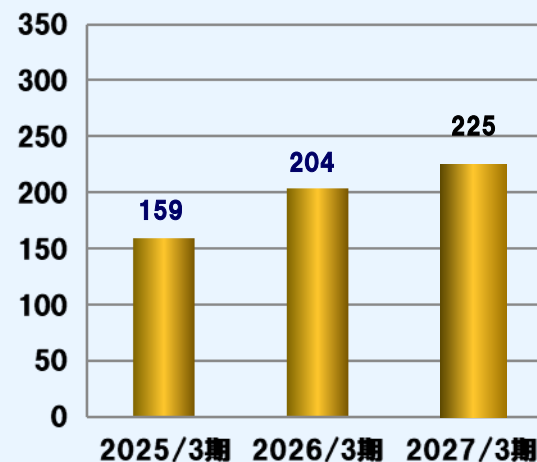
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション事業



予想基礎

- ・オーディオ、ボイス関連は車載、音声認識向け案件獲得見込む
- ・各種配信システム関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・AI認識率向上向けに鮮明化技術も期待

- ・デジカメ、宇宙関連向け中心にH.265、H.264/5案件獲得目指す
- ・ディスプレイ装置向け中心に固定長圧縮、デムラ圧縮などの伸び見込む
- ・医療機器向けJPEG XSも期待

- ・各種装置物の国内外での拡販見込む
- ・防災・防衛向け低遅延システムの拡販見込む
- ・車載関連や各種システム構築案件の獲得見込む
- ・映像鮮明化関連も期待

5-3-1 2027年3月期における課題

1. 東証上場維持基準適合への対応結果

2026年3月期が基準適合への最終期(改善期間)

- ①適合対応策の目標(業績の継続的回復)の第一歩は達成
- ②維持基準適合株価は795円程度ながら結果は615円前後

2. 東証上場維持基準適合/不適合の確認のため監理銘柄に指定

(1)2026年4月1日～

(2)不適合の場合、整理銘柄に指定され、10月1日に上場廃止

(3)基準不適合の場合の対応策

関係各機関ととり得る施策を検討し、ステークホルダーにとって適切と思われる対応を目指す

5-3-2 2027年3月期における課題

3. 売上拡大

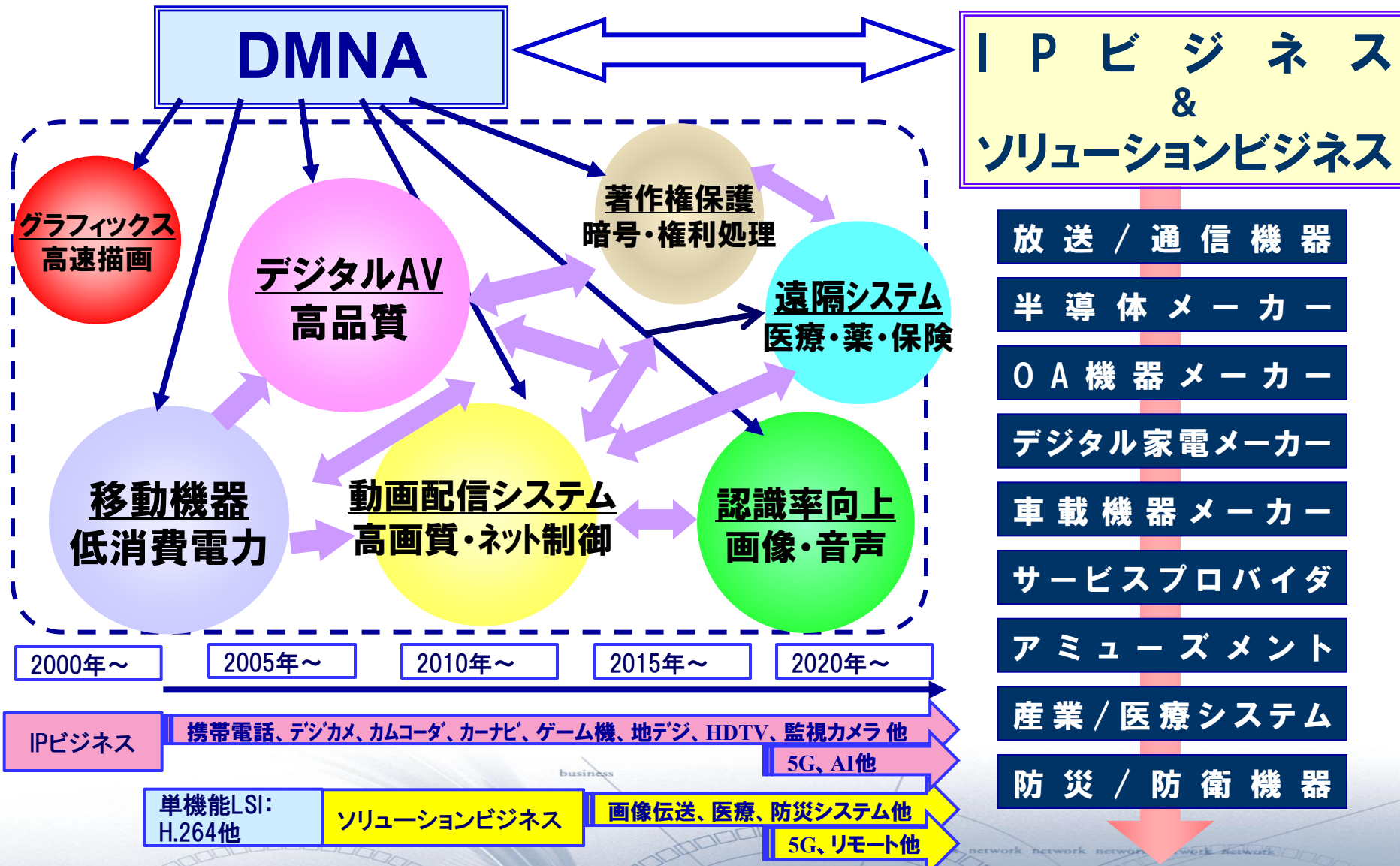
- (1) IPライセンス事業: H.265 & H.264 Multi / JPEG XS / AV1 /
固定長圧縮 / 認識率向上SW(音源分離、
ズームボイス、映像鮮明化)案件の獲得
- (2) ソリューション事業: ・各種装置物の国内外での拡販
・開発案件獲得(防衛/車載/通信/放送)
・クラウド対応の新製品開発

4. 営業・開発の連携強化による海外ビジネス対応と案件数拡大

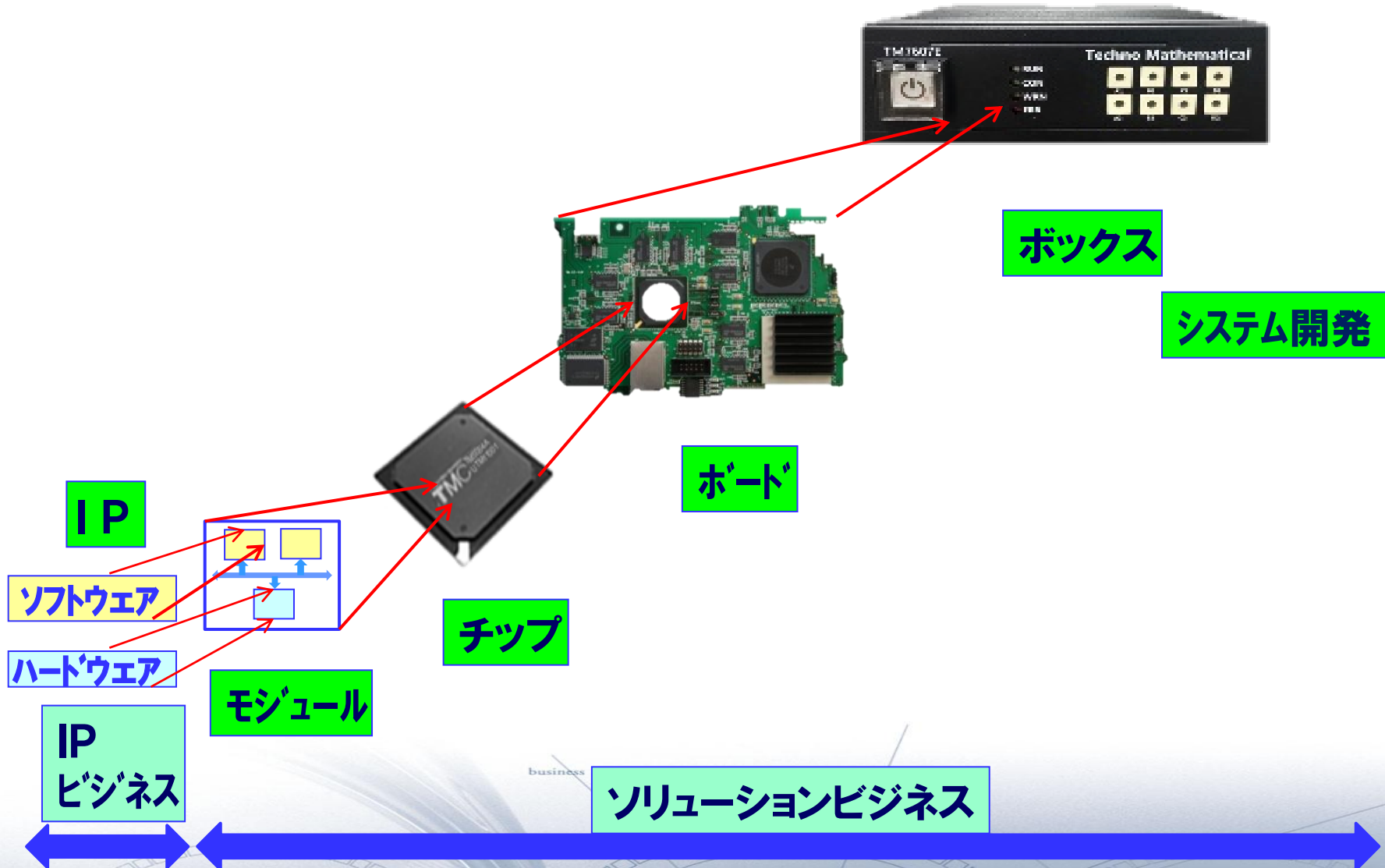
5. 顧客接触の量的・質的向上と価値の訴求強化

6. 既存技術の高機能化・高性能化・デコーダ汎用版化による差別化/優位性の維持・強化

6-1 ビジネス展開の推移



6-2 IPビジネスとソリューションビジネス



6-3-1 IPビジネス

〈ソフトウェアIP〉

Audio	Voice	Video/Still	TMC Original	ISP
OPUS Enc/Dec	Zoom Voice	H.265/HEVC Enc/Dec	DMNA V3 Enc/Dec	SDR ⇒ WDR/HDR
FLAC Enc/Dec	Wind Noise Suppressor	H.264 BP/MP/HP Enc/Dec	DMNA V2 Enc/Dec	Interlace ⇒ Progressive
HE-AAC Ver2 Enc/Dec	Noise Suppressor	MPEG4 Enc/Dec	DMNA V2-B Enc/Dec	FRC
AAC-SBR/LC Enc/Dec	Hands Free	MPEG2 Enc/Dec	DMNA V2-S Enc/Dec	Up/Down Scaler
WMA Dec	Variable Speed Playback	JPEG XS Enc/Dec	DMNA V2-C Enc/Dec	Super Resolution
MP3 Enc/Dec	AMR Enc/Dec	JPEG 2000 Enc/Dec	Visibility Enhancer	LossLess Enc/Dec
AC3 Enc/Dec	G.7XX Enc/Dec	JPEG Enc/Dec		Color Filter

System Development for **high compressibility, high quality, low power consumption, and low delay**

Trans CODEC	
GStreamer for Audio	
HEVC 16K/8K/4K Viewer	Mobile Encoder
8K⇒4K/2K Viewer	Remote Control with Video
Opening Viewer For Navigation	3-seg VLOW
Multi Viewer	Fullseg/1seg With Tuner Control
Media Player	Area 1-seg Broadcast

Software IP

Software

6-3-2 IPビジネス

<ハードウェアIP>

種類	製品			
動画 コーデック	H.264 HP 1080/30p I-Only Codec	H.264 HP 4K/60p Compact Codec	H.264 BP 1080/30p FPGA Codec	MPEG2 1080/60i FPGA Codec
	HEVC 8K/60p Codec	HEVC 1080/30p FPGA Codec	H.264&HEVC 4K/60p Codec	JPEG XS 4pixels/clock Enc/Dec
静止画 コーデック	JPEG 4pixels/clock Enc/Dec	JPEG 8pixels/clock Enc		
画処理 エンジン	Frame Rate Converter x 10	Fixed Length Compression 1/2 1/3 1/4 1/6	Lossless Near Lossless Enc/Dec	Visibility Enhancer FPGA
	Super Resolution 8K Scaler	WDR FPGA	HDR FPGA	
その他	AES FPGA			

6-3-3 ソリューションビジネス

〈LSI/ボード&装置・システム開発〉

Point-One

Multi Viewer (with PTZ)

Compact Codec (Non-DRAM)

Ultra Low Latency FHD

2020~

LSI

H.264 FHD/60p TM5184


Super Resolution TM5727

MPEG2-HD TM5084

ボード

HEVC/H264 Module Board

H.264 FHD/60p Module Board



LSI/ボード

低ビットレート/低遅延/低消費電力

HEVC 8K Realtime Enc

HEVC 4K YUV422 Dec

Wifi Sync Viewer

Low Latency FHD Tx/Rx Compact

Low Latency FHD Tx/Rx

4K-60P Tx/Rx

LucidEye Visibility Enhancer

2ch Low Latency FHD Tx/Rx

LucidEye Visibility Enhancer APP for Windows



装置・システム開発

アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp